

Nice Town Good People

中央区 第17号

こんにちは 町会です

みんなの心を強い絆で結ぶ
町会・自治会のまちづくり活動

新川二丁目
越二町会



日本橋三丁目
西町会



豊海町会



**町会・自治会活動に
参加しましょう！**

わたしたちのまち中央区は、定住人口が十五年連続で増え続け、現在では、にぎわいと活気にあふれる「十二万人都市」となりました。

まちなぎわいが増す中で、毎日安全で快適な暮らしをしていくためには、地域で暮らす人々との相互理解や信頼関係の構築が重要となります。

地域において、その中心的役割を担っているのが町会や自治会です。

町会・自治会は、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した活動を幅広く行っています。

特に、防災活動については、日ごろから意識を持って隣近所が協力し助け合う態勢づくりに努めていたことで、昨年三月十一日の「東日本大震災」においても、安否確認や声かけ、避難所の開設などに力を発揮しました。

また、防災訓練の実施や災害用備蓄品の一層の充実を図るなど、より安全で安心なまちづくりに取り組んでいます。

さらに、町会・自治会は、盆おどりやもちつき大会などの伝統行事も行っていますので、子どもから大人まで幅広い年代の方たちとコミュニケーションを図ることが出来るのも魅力です。

「こんにちは町会です」は、主に町会・自治会に未加入の方を対象に、町会・自治会の活動を少しでも知っていただき、加入・参加へのきっかけとなることを目的としています。

さあ、あなたも町会・自治会の活動に積極的に参加して、快適な地域社会と活力あるコミュニティをともにつくっていきましょう！

京橋地域

まちに住む人と働く人を結ぶ町会活動
新川二丁目越二町会 会長 谷島豊さん

新川二丁目越二町会の「越」は旧町名「越前堀」からなり、この名の由来は江戸時代に遡ります。昭和十二年には、町会の前身となる隣組が既に存在し、自治組織としての基盤が整っていました。

会長の谷島さんは「わたしの祖父も町会長を務めており、この辺りでは三代続く町会員も珍しくありません。その一方で、近年はマンション世帯の増加が著しく、町会への加入はマンションの管理会社の方針に左右される部分が多いです。そのため、新たに住民となった方たちに、いかに町会活動の意義を理解していただき、加入を促していくのが、町会運営の在り方も転換を求められています。」と、町会の現状を語ります。

町会では、年間を通してさまざまな行事を行っています。毎年恒例の「納涼大会」では、婦人部の方々の手作り料理



をバイキング形式で味わうことが出来ることとあつて、多くの参加者にぎわいます。また「中央区大江戸まつり盆おどり大会」の出店では、手作りの氷小豆が美味しいと評判になり、毎年長蛇の列ができるほどです。「婦人部は主婦の集まりですから『出来る人が出来る事をやる』を基本に、決め事は作りません。それが、楽しみながらやるコツだと思っています。」と、婦人部長の山田さん。

さらに、新川二丁目越二町会ならではのユニークな活動として「金刀比羅寄席」があります。今年の二月で第七十五回を数えたこの「金刀比羅寄席」は、年に三回開催し、ワンコインの五百円でお茶とお菓子付きで楽しめるというところもあり、老若男女が集うがまちの恒例行事となっています。前会長の矢澤さんは「小学生の時に初めて来た子も、今や高校生です。漸家を育てる小屋を作りたいと思って始めましたが、聞き手も同時に年齢を重ねてい



左から谷島会長、山田さん、矢澤前会長

るのが楽しいですね。」と、うれしそうに話します。

町会活動で広がる地域の輪
町会には、数千人規模の企業も法人会員として加入しており、町会活動にも積極的に参加しています。「深川八幡祭」の町会みこしの担ぎ手の募集にあたっては、企業の社員の方からの希望が集中し抽選をするほどです。

また、町会が特に力を入れている防災活動についても、災害時を想定した企業との給水協定を締結するとともに、備蓄品を増やすなど地域ぐるみで熱心に取り組んでいます。

「東日本大震災の折は、防災拠点の小学校は多くの帰宅困難者であふれ返り、我々住民が避難する余地は無いと実際に感じました。そのときの経験を活かし、現在は町会としての一時避難所を設置する取り組みを始めています。」と、谷島さん。わがまちを愛する気持ちと気心の知れたチームワークが、この町会の底力であることを実感しています。



防災用具の場所は町会全員が共有

～町会・自治会ネットをご利用ください～

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板（会員のみ利用可能）や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

「中央区町会・自治会ネット」をまちの魅力を共有する一手段として、積極的にご活用ください。

中央区 町会・自治会ネット

検索

ご質問やご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【連絡先】 区民部地域振興課自治振興係 03-3546-5336

※中央区のホームページからもリンクがありますので、ご利用ください



日本橋
地域

だれもが安全で安心なまちを願って
日本橋三丁目西町会 会長 野永喜一郎さん

日本橋三丁目西町会は、中央通りを挟んで数多くの企業や飲食店などが立地している地域の核として、多岐に渡る活動を行っています。なかでも、防災活動は中央区内でいち早く「防災助け合い宣言」を行うとともに、「震災対策防災協議会」を設置して、三回に渡り大規模な「地域総合防災訓練」を実施してきました。

「日本橋」という商業地の町会として、『町会と企業の和』をモットーに、企業に対して積極的に町会への参加を呼び掛けています。また、昼間は住民より企業などに勤めている人の方が多いため、災害時に住民や企業など皆が協力し支え合いながら、被害を最小限に抑えることが出来るように、防災活動には特に力を入れて取り組んでいます」と、会長の野永さん。



「地域総合防災訓練」は、平日の昼間に、企業の社員を中心に約四百名もの参加者で実施します。訓練の内容は、消火器や起

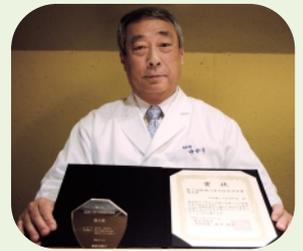
震車、煙など

の体験に加え、応急担架の作製や炊き出しなど、消防署をはじめとする官公署と連携した実践的なものとなっています。この他にも、災害の発生に伴う帰宅困難者を想定した「地域防災簡易マニュアル」を作成し、企業を中心に配布しています。

これらの積極的な取り組みが高く評価され、平成二十三年一月には東京消防庁から「消防総監賞」を受賞しました。野永さんは、「防災担当の野永さんをはじめ町会の皆さんが力を合わせて活動してきたことが評価されて嬉しいです。また、東日本大震災の発生時においては、防災活動で多くの経験を積んでいたことが役に立ち、冷静に声掛けや誘導などの対応が出来ました」と、防災への心掛けの大切さを語ります。

光と緑、笑顔があふれる
まちを目指して

日本橋三丁目西町会では、周囲の再開発に伴い、町会の下部組織として「街づくり協議会」を設置し、「光と緑」をキーワードにした街の



消防総監賞を手にする野永会長

活性化に努めています。野永さんは、「街灯を明るくものに替えたり、防災も含めた安心・安全の強化を『光』に、町会内の緑化を推進するなどの工（環境）活動を『緑』に例えています。この活動が実を結び、日枝神社の『山王祭』では、新設された街灯に二張のちょうちんが明々と灯り、一段とにぎわいが増します。お祭りは、準備も含めて町会内の連帯や絆を深める良い機会になります。江戸時代から続く、この伝統と文化を後世にも継承していきたいですね」と、力強く語ります。

また、町会は日本橋六の部連合町会の一員として、各種イベントを実施しています。春の「日本橋さくら祭り」は、同連合町会の青年部「日八会」が中心となり、新潟県津南町の雪で作った灯籠や各種屋台、ジャズや民謡などの生演奏を提供し、とても好評です。秋の「オータム祭り」は、子どもたちのためのお祭りですが、城東小学校の高学年の児童たちがお手伝いに参加してくれま



オータム祭り

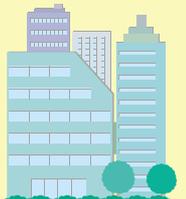
町会は、これから防災活動やお祭りなどの行事を通じて、ともに支え助け合っていく相互扶助の気持ちに満ちあふれたコミュニティを形成していきたいと考えています。

～中央区の企業の皆様へ～ 町会では法人企業会員の方も募集しています

都心である「中央区」には、約4万1千の事業所に74万人の従業員が働いています。昨年の3月11日に起きた「東日本大震災」では、首都圏を中心に多くの帰宅困難者が発生しましたが、中央区においては、町会のご協力のもと2千人を超える人々を、19の防災拠点において受け入れました。町会は、日頃から地域の活性化とともに、行政と連携して防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりにも貢献されています。

法人企業においても、町会との連携を深め、地域間での協力体制を築いておくことが大切です。また、盆おどりやもちつきなど、町会が主催するさまざまなイベントに参加することができ、日中多くの時間を過ごす地域の方との交流を図ることもできます。

ぜひ、町会未加入の企業の方は、これを機会に加入しましょう！皆さんの事業所がどこの町会エリアに属しているかなど、町会に関する詳しい情報は、2面下段の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。



月島地域

隣近所のふれあい活発なまちの町会

豊海町会 会長 宮森孝一さん



豊海町は昭和三十八年に完成した埋立地で、当時の住民アンケートにより町名が付けられました。豊海町会は、東卸豊海住宅に居住する方たちにより構成されています。

「この約三分の二は築地市場関係者で職場も住まいも同じということもあり、町会員同士はほとんどが顔見知りです。今でも魚をお裾分けしたり、惣菜をやりとりするなど、昔ながらの近所付き合いも残っています。仕事柄、夜八時頃に就寝し深夜二時には出勤するという方も多いことから、町会としては、夜間の公共工事は避けるよう行政機関などに依頼をしています。」と、会長の宮森さん。

上空からの豊海町



町会の恒例行事は、もちつき大会「納涼大会」「バスハイク」など親睦を深めるものから、住吉神社の「御祭り」や「東京湾大華火祭」の警備まで多岐に渡ります。毎回好評の納涼大会では、住宅敷地内の広い中庭に盆踊りの櫓を組み、子どもから大人までにぎやかに、踊りと美味しい食べ物を楽しみます。

安全で安心なまちを目指して

住民の主な移動手段は自転車ですが、一世帯あたりの所有台数が多く駐輪場の飽和状態が顕著になってきました。町会では共有自転車を導入し、短時間の利用などは「シェアリング」を推奨する事で問題解決を試みています。そのほか「粗大ゴミの出し方」や「ペット問題」など集合住宅ならではの課題もあります。町会として皆で協力して取り組むことで、効果的な解決策を講じることが出来ることも、住民の規範意識の向上も図っています。



防災倉庫と町会の共有自転車

また、豊海町は周囲の多くを運河や川に囲まれているため、以前から水害などの災害を心配する声が多くありました。「東日本大震災では、町内に水害はありませんでしたが、エレベーターが緊急停止したり、上層階で家具が倒れるなどの被害がありました。上層階の自宅に戻ることが出来ない方

に、町会事務所を簡易宿泊所として開放しました。幸いにも、普段から一人暮らしや障害をお持ちの高齢者を見守るよう心掛けていたので、安否確認の声かけはスムーズに行うことが出来ました。」と、宮森さん。

震災時において、事前の対策を講じていたことにより、町会が重要な役割を果たしたことがよく分かります。

震災後、宮森さんは被災地へ災害ボランティアに赴き、瓦礫撤去と泥掻き作業に従事しました。

「人々が被害の大きさに胸を痛めながらも復興に向けて力を合わせている姿を通じて、助けあうことの大切さをあらためて認識しました。豊海町も、同じ水辺の地域ということ、今回の災害は他人事とは思えませんが、まずは自分たちが動く事の重要性を痛感しました。」と、語ります。

町会では、これまでも、災害はいつ発生するか分からない」ということを念頭におき、夜間や予告無し消防訓練を行うなど、さまざまな状況を想定した試みを行ってきました。

宮森さんは、「今後は水害を想定した『高い場所への避難』なども採り入れていきます。」と、貴重な体験を町会活動に活かしていくことを語ってくれました。

これからも、地域の人たちが安全で安心に暮らしていくことが出来るよう、豊海町会は歩み続けます。

コミュニティふれあい銭湯

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として毎月第2・第4金曜日に一人100円（敬老入浴証持参者および小学生以下は無料）で銭湯の湯をお楽しみいただけます。みなさんのご利用をお待ちしています。

平成24年度の前期は、下記の日程となっています。

開設日	時間	各浴場営業時間
4月13日(金) 27日(金)	場	中央区内公衆浴場(銭湯) 10浴場
5月11日(金) 25日(金)	対象者	中央区内在住・在勤者
6月8日(金) 22日(金)	入浴料金	一人100円 ※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料
7月13日(金) 27日(金)		
8月10日(金) 24日(金)		
9月14日(金) 28日(金)		



【問い合わせ先】

区民部地域振興課区民施設係 03-3546-5623

※第2金曜日は、季節にちなんだ趣向で浴場を飾ります。